

「5-1.世界恐慌」「5-2.ファシズム(の台頭)」を学ぶにあたって 教材解説及び授業の進め方の例

「0-1 「歴史総合の教材について」の内容を、教材の項目を見ながら読めるようにしました。どのような教材が用意されているか、授業の流れとともに確認できるので、どうぞ参考になさってください。

第Ⅴ単元 教材一覧

Ⅴ	世界恐慌・ファシズム	歴Ⅴ-1	学ぶにあたって
		歴Ⅴ-2.1	テキスト
		歴Ⅴ-2.2	予習プリント
		歴Ⅴ-2.3	予習プリント 答え入り
		歴Ⅴ-3.1	ワークシート
		歴Ⅴ-3.1.2	ワークシート 答え入り
		歴Ⅴ-3.2.1	パレスチナ問題
		歴Ⅴ-3.1	パレスチナ問題 答え入り
		歴Ⅴ-4.1	資料を読みとろう
		歴Ⅴ-4.2	資料を読みとろう 答え入り
		歴Ⅴ-5	漢字テスト
		歴Ⅴ-6.1	重要語句説明
		歴Ⅴ-6.2	確認テスト

歴Ⅴ-1「学ぶにあたって」

5.1 世界恐慌

5.2 ファシズムの台頭を学ぶにあたって

項目

「学ぶにあたって」(本教材)の9頁以降に、本単元の概要や注意点が記述してあります。

- 1.世界恐慌を学ぶための前提知識の補充
- 2.昭和恐慌について
- 3.ファシズムの扱い

解説

教材のタイトルを表します

空色は
教師用資料であることを示します

この教材の主な項目(見出し)を載せました。教材が取り上げている内容がわかります。

この教材に関する解説が載せてあります。授業で使用する際の参考になさってください。

「5-1.世界恐慌」「5-2.ファシズム(の台頭)」を学ぶにあたって

教材解説及び授業の進め方の例

「0-1 「歴史総合の教材について」の内容を、教材の項目を見ながら読めるようにしました。どのような教材が用意されているか、授業の流れとともに確認できるので、どうぞ参考になさってください。」

第Ⅴ単元 教材一覧

印字見本

歴Ⅴ-1	学ぶにあたって
歴Ⅴ-2.1	テキスト

この教材のプリントアウトの一部をペーストしました。紙幅の都合上、小さくなり、見づらいと思いますが、解説を読む際の参考になさってください。

歴V-2.1「テキスト」	
5.1 世界恐慌 5-1.1 世界恐慌の始まり 5-1.2.各国の世界恐慌の対策 5-1.2.1.アメリカの対策 5-1.2.2.植民地の多いイギリスやフランスの対策 5-1.2.3 植民地の少ないイタリア、ドイツ、日本の対策 5-1.2.4.社会主義のソビエト連邦 5.1.3.世界恐慌の影響 5.2 ファシズム 5.2.1. ファシズムとは 5.2.2.1.イタリアのファシズム 5.2.2.2.ドイツのファシズム	歴史総合 5-1. 世界恐慌 印字見本 5-1.1 世界恐慌の始まり 第一次世界大戦後、1920年代に、アメリカは、世界経済の中心になって、生産も消費も増えて、好景気でした。ところが、生産が多すぎたことがきっかけとなって、1929年10月、ニューヨークの株式市場で株価が急に大きく下がってしまいました。それで、アメリカの経済が急に大変悪くなりました。これを「恐慌」といいます。アメリカでは、銀行や企業の倒産が増えて、失業者も増えました。物を作っても売れないのです。このように、生産も消費も大きく減って、大不況になってしまいました。当時、世界経済の中心だったアメリカの恐慌は、世界中に広がって世界恐慌になりました。 5-1.2. 各国の世界恐慌の対策 5-1.2.1 アメリカの対策—ニューディール(New Deal)政策 大不況を解決して好景気にするために、F.ローズヴェルト(Roosevelt)大統領は、1933年から新しい政策を始めました。この政策を「ニューディール」といいます。この政策の特徴は、政府が公共事業を建設して、失業者に仕事を与えました。 5-1. The Great Depression 5-1.1 The Beginning of the Great Depression After World War I, in the 1920s, the United States became the center of the world economy and was booming, with increased production and consumption. However, too much production triggered a

●「2.1 テキスト」について

- ・JSL 生徒に予習してきてもらうために作成しました。
- ・「歴史総合」の教科書のポイントを「やさしい日本語」でわかりやすくまとめたもので、どれか一つの教科書に拠ることは避けました。
- ・前提知識となる部分については、中学校の歴史教科書の内容も含んでいます。

●「テキスト」の記述に用いた「やさしい日本語」とは？

- ・日常の身近な話題で使われる言葉を用いる 例:「記述する」ではなく、「書く」を用いる
- ・文の構造を簡単にする ・だれが、何を、いつ、なぜ、どのようにしたのか、を中心に書く

●「テキスト」における英語訳の役割とほかの言語への展開

- ・「やさしい日本語」でも理解が難しい JSL 生徒のために、文章全体の英語訳がつけてあります。英語が不得手な学習者には、翻訳ソフトを利用して、母語の翻訳を渡してもいいでしょう。その場合は、英語訳をコピーして翻訳ソフトに貼り付けた方が誤訳が少なくなります。例えば、日本語→英語、英語→シンハラ語のデータは豊富にありますが、日本語→シンハラ語のデータは圧倒的に少ないため、誤訳が多くなります。
- 内容理解の確認には、「予習プリント」を使います。日本語を読むのが難しい生徒には、「予習プリント」の確認問題の答えが書かれている部分に下線などを引いて渡してもいいでしょう。

歴V-2.2「予習プリント」	
歴V-2.3「予習プリント_答え入り」←教師用	
「2.1 テキスト世界恐慌・ファシズム」の内容理解の確認問題 10 題 項目	歴史総合 予習プリント(5) 世界恐慌・ファシズム () 年 () 組 名前 () 1. 1920年代、どこの国が世界の経済の中心でしたか。 Which country was the economic center of the world in the 1920s? () 印字見本

●「2.2 予習プリント」は、「2.1 テキスト」の内容理解を確認するための問題が用意されています。

答えは、年号、単語、短文で書く簡単な問題です。

- 答え合わせは、教室授業で行うことを想定しています。答え合わせの際は、「テキスト」のどの部分に書かれているのか、生徒に質問した上で、答えを言ってもらいたいでしょう。

歴V-3.1「ワークシート」 歴V.3.1.2「ワークシート_答え入り」	
5-1 世界恐慌 考えよう Q1 世界恐慌は、なぜ起きたのか Q2 世界恐慌は、世界にどんな影響をおよぼしたか 【1】経済が悪くなった歴史の背景 【2】基礎知識:株って何? 【3】恐慌の始まり 【4】恐慌でどうなった? 【5】諸国の恐慌対策 ★資料を読み取ろう「日本の昭和恐慌」 Q1 世界恐慌は、なぜ起きたのか。 Q2 世界恐慌は、世界にどんな影響をおよぼしたか 5-2.ファシズム 考えよう Q1 国民は、なぜ、どうやってファシズムに進んでいったのだろうか。 Q2 国の面積が狭くて、植民地も少ない国はどうした? ファシズムに向かうパターン 【1】イタリア 【2】ドイツ ★資料を読み取ろう 「ファシズム、あなたは どうする?」 Q1 国民は、なぜ、どうやって(後略) Q2 国の面積が狭くて、(後略)	項目 解説 ●「ワークシート」を使って、教室授業を進めます。 「3.1 ワークシート」は、学習者配付用です。 「3.2 ワークシート_答え入り」は、教師用です。 本単元の「ワークシート_答え入り」には、模範解答のほか、注記事項が記してあるので、参考になさってください。 ●「考えよう」の役割 この単元で考えてほしい最も基本的な課題を掲げたものです。「ワークシート」の最後に、各自が課題について理解できたことを、日本語と生徒の得意な言語でまとめる欄があります。授業担当の先生が知らない言語でも、スマホのカメラ入カ翻訳ソフト(Google Lenz など)を使えば、書かれた内容がわかります。 ●教師の役割 教師が一方的にレクチャーする形ではなく、「考えよう」に掲げた本質的な問いに取り組みせ、意見を言わせながら、対話的な深い学びに結びつけることが肝要です。 授業の中で、教師と対話しつつ、基本事項が書き込めるように()を設けています。生徒から()内に入ることを口頭で引き出せるとよいでしょう。 ●ワークシートのルビと訳語について 歴史を学習する上では重要な語句ではあっても、JSL 生徒が使用している初級レベルの日本語教科書(『みんなの日本語』など)では扱わない語(例:戦場、生産など)には、ルビと英訳をつけました。学習者が辞書で調べる負担を減らし、授業内容に集中してもらうためです。 ●「5.漢字(読み)テスト」との連動 ワークシートに下線がついている語句は、「漢字読みテスト」の出題対象となっていることを示しています。 ●「6.1.重要語句説明」「6.2 確認テスト」との連動 ワークシートに が付いている語句は、「重要語句説明」とその確認テストの対象となっていることを示しています。 ●★資料を読み取ろう ワークシートとは、別のファイルが用意されています。 本教材 ページをご覧ください。

歴V-3.2「パレスチナ問題」
歴V.3.2.2「パレスチナ問題_答え入り」

パレスチナ問題

項目

- ①紀元前 10 世紀 イスラエル王国
- ②紀元前 6 世紀～1 世紀 ローマ帝国
- ③6 世紀～第 1 次世界大戦 ユダヤ人差別
- ④19 世紀末 シオニズム運動
- ⑤第一次世界大戦 イギリス外交
- ⑥第二次世界大戦 ホロコースト
- ⑦戦後 1947 年 国連決議
- 1948 年 イスラエル建国
- ⑧1949 年 第一次中東戦争
- ⑨1964 年 PLO
- ⑩1993 年 和平合意
- ⑪2023 年現在
- ⑫パレスチナ自治区周囲の壁

パレスチナ問題 Palestine issue

印字見本

() 月 () 日 () 年 () 組 名前 ()

土地の取り合いの歴史

①紀元前10世紀＝今から約(3000)年前
(パレスチナ) (場所の名前) に、
Palestine
(ユダヤ) 人が (イスラエル) 王国を作った
Jew Israel

②紀元前6世紀～1世紀 ローマ帝国が(パレスチナ) を
Roman Empire
支配した。(ユダヤ) 人は逃げて世界中に散って
scattered
暮らした。その後、パレスチナには、(アラブ) 人
Arab
＝ (イスラーム) 教徒、が移住した。
muslim moved

③6世紀～第一次世界大戦 「(ユダヤ) 人がキリスト
Jesus Christ
を殺した」と「聖書」に書いてある。
bible
だから、(キリスト) 教の人は、ユダヤ人が嫌いだった。
ユダヤ人を差別、迫害をした。
discrimination persecution
(土地を、公務員へお金の仕事をする人が多かった)

④19世紀末 ユダヤ人は「いつか故郷のパレスチナに帰っ
て(ユダヤ) 人の国を作ろう」という運動を始めた。

⑤第一次世界大戦後
トルコが戦争に負けて、かわって (イギリス) がパレス
チナを支配した。イギリスは、(ユダヤ) 人にイスラエ
rule

出典：東京法政出版
「ビジュアル公民 2018」

イラスト：Be Design Office

●「パレスチナ問題」は、補充ワークシートです。

「3.2 ワークシート」は、学習者配付用です。

「3.2.2 ワークシート_答え入り」は、教師用です。

●教科書におけるパレスチナ問題の扱い

教科書によって、取り上げる単元が異なります。

- ・第一次世界大戦中のイギリス外交
- ・第二次大戦後の「第三世界」
- ・冷戦下の地域紛争

この補助ワークシートでは、適切な時期にパレスチナ問題を授業に組み込めるよう、古代から現代まで
ひとまとめにしました。

従来は、ナチスによるユダヤ人迫害を取り上げる時点で取り上げていましたが、2023 年は、イスラエル
とハマスの戦闘が起きたので、現実の問題の背景を知るために、そのタイミングで扱いました。

解説

歴V-4.1「資料を読み取ろう」
歴V.4.2「資料を読み取ろう_答え入り」

5-1 世界恐慌：日本の昭和恐慌 **項目**

- 【1】ここから昭和です
 - 【2】日本の昭和恐慌前後の経済指標
 - 【3】日本の経済
 - 【4】日本の農産物の生産価格の変化
- 5-2 ファシズム、あなたはどうする？

あなたは1915年に生まれたドイツ人です、
【1】第一次世界大戦で負けて、1919年から
1933年まで、ドイツの経済はとても悪かった。

あなたはこんな時、どう思う？ どうする？

- 【2】ヒトラーのナチス党が力をもって、みんな
に宣伝する

あなたはヒトラーを支持する？

- 【3】ドイツ民族はいい人種、ドイツにユダヤ人
はいらない

あなたは賛成する？ 協力する？ 何をする？

- 【4】ファシズムの歴史の経験から、あなたが
気付いたことは何だろう？

資料を読み取ろう5-1 「世界恐慌：日本の昭和恐慌」

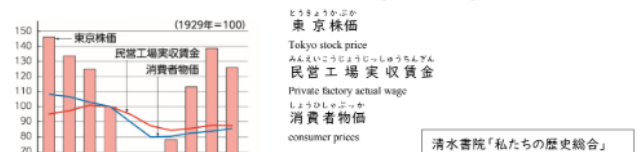
The Great Depression : Japan's Showa Depression

() 年 () 月 () 日 () 年 () 組 名前 **印字見本**

- 【1】ここから昭和です。

元号	明治	大正	昭和	平成
西暦	1868	1912	1926	1989
		1926	1989	2019

- 【2】日本の昭和恐慌前後の経済指標
Economic indicators before and after the Showa Depression in Japan



- (1) 東京の株価 が下がったのは何年からですか。 (1927) 年

- (2) 東京の株価 がいちばん低くなったのは何年ですか。 (1930) 年

資料を読み取ろう5-2 「ファシズム fascism あなたはどうする？」

() 年 () 月 () 日 () 年 () 組 名前 ()

あなたは1915年に生まれたドイツ人です。あなたが4歳～30歳の時代に次のような事件が起きます。そのとき、あなたはどうか考えるでしょう。あなたは何をしますでしょう。

- 【1】第一次世界大戦で負けて、1919～1933年、ドイツは経済がとても悪かった。

- (1) 仕事やスूपをもらうために (2) 物価が高くなって、 (3) 500万マルク札でも、
並ぶ人たち お金ゴミみたい 買えるものがない



解説

●「主体的・対話的な学び」につながる教材

写真・図表・地図の読み取りなどが、「主体的・対話的な学び」のキーになることが多くあるため、用意した教材です。日本語力の不十分さを補う工夫をすることで、こうした活動も可能になります。

●JSL生徒の日本語力の不十分さを補う工夫

・読み取りの支援—史資料の中に出てくる文字のルビと意味、英語訳などをつけました。

・発表への支援—読み取った内容を発表するときに、日本語の表現がわからないことがよくあります。そのため、()に読み取った語句を入れれば発表ができるようにしました。

●活発な教室活動につなげる工夫

・授業で使用している教科書の資料に合わせて、先生方が教材を作成することがもっとも望ましいと考えます。その際に、上記の読み取りや発表への支援をしていただければ活発な教室活動が可能になります。

●ファシズムの扱いの留意点

「3.2.ワークシート_答え入り」の解説をご覧ください。

歴V-5「漢字テスト」

印字見本 1

歴史総合 漢字テスト 5-1 世界恐慌

() 月 () 日 () 年 () 組 名前 ()

1. ヨーロッパは生産が減って、アジアへの輸出も減った。
export

2. ヨーロッパの代わりに、アメリカが製品を売る。
on behalf of product

3. 戦争が終わって、ヨーロッパの生産が安定した。
becomes stable

印字見本 2

歴史総合 漢字テスト 5-1 世界恐慌 解答

() 月 () 日 () 年 () 組 名前 ()

1. ヨーロッパは生産が減って、アジアへの輸出も減った。
export

2. ヨーロッパの代わりに、アメリカが製品を売る。
on behalf of product

3. 戦争が終わって、ヨーロッパの生産が安定した。
becomes stable

解説

●漢字の定着を図るための「漢字(読み)テスト」

漢字の読み書きができることは教科の学習には非常に重要です。JSL生徒は、日常生活で使われる漢字は、日本語教科書(『みんなの日本語』など)で学びますが、教科学習の漢字は、日本語教科書では習わないことが多く、しかも、日常生活では使用頻度が低いため、定着が困難です。

漢字の定着には、教科学習の文脈の中で漢字や語句の「意味」「読み」「形」を結びつけて覚えるのが効果的です。

●「漢字(読み)テスト」の対象となる語句

本教材の「3-1.ワークシート」の下線部分の語句です。

●漢字学習の方法

①授業の終わりに生徒に「漢字クイズ解答(印字見本2)」を渡す。練習用に「印字見本1」も併せて渡してもよい。

②生徒には、「漢字クイズ解答」をスマホに写真で取り込み、通学や空き時間に「見て覚える」よう促す。

③「製品:せいひん」と読みだけを覚えるのではなく、テストの対象となっていない漢字にもルビを付けたので、文の意味も自分で調べた上で覚えることを勧める。

●テスト実施

「見本1」を印刷して、次回の授業の初めに小テストとして行う。

●漢字解答のルビ振りの注意

・ルビは単漢字ごとに(「文字単位」で)振る。(漢字になじみがない生徒は「歴史」を「歴史」と書く間違いも生じます)

・生徒はルビを読んで学習します。本教材を参考に、先生ご自身が漢字テストを作成される場合は、ルビのポイントを大きくすると、濁点の有無、拗音・撥音等小さい文字の判別がしやすくなります。

歴V-6.1「重要語句説明」		
重要語句説明 5-1.世界恐慌 5-2.ファシズム The Great Depression Fascism		印字見本
語句	説明	
1 赤字 deficit 赤字	支出が収入より多くて、利益がマイナスになっていること。 Profits are negative because expenses are greater than income. 指经济活动中支出多于收入的差额数字。簿记上登记这种数目时，用红笔书写。——《现代汉语词典》	
2 賠償金	損害を与えた方が、被害を受けた方に、お詫びのお金を払うこと。	

●「重要語句」とは？

生徒が意味を理解することが必要な歴史用語のこと。日本語、英語、中国語で説明文を作成しました。

●「重要語句説明」の使用言語

- ・「やさしい日本語」
- ・英語版・中国語版

歴史的事項の説明は正確さを要することから、「やさしい日本語」では対応が難しいため。

●「重要語句説明」の使い方

- ①授業で重要語句が出てくるたびに意味の確認に使うことを想定しています。
 ←歴史用語は授業以外の生活では使用頻度が低く、授業の中で、耳で聞くだけでは意味がすぐに思い出せないこともよくあります。以前の単元で取り上げた「重要語句」も、繰り返し載せました。
- ③定期考査の機会に、それまでに学んだ「重要語句」の理解をまとめてチェックすることもできます。
- ④授業で使用する Microsoft PowerPoint 等のスライド資料に加えておくとも便利です。

歴V-6.2「確認テスト」

重要語句を覚えたか、説明ができるか、教師・生徒が確認できるよう、「確認テスト」を3種類用意しました。

印字見本

確認テスト(1) 5-1.世界恐慌 5-2.ファシズム

どのことばの説明ですか。次のページの□から正しいことばを選んで、その記号(ア～セ)を答えの欄に書きなさい。

	説明	答え
1	支出が収入より多くて、利益がマイナスになっていること。	
14	選挙できる人を決めるときに、年齢だけ決めて、他は何も制限しないこと。反対は制限選挙。 When deciding who can vote, only decide on age and do not limit anything else. The opposite is limited elections. 除年齢外无其他任何限制条件的选举方式。与之相对的是有限选举。	

どのことばの説明ですか。正しいことばを選んで、その記号(ア～セ)を答えの欄に書きなさい。

Which word is being explained? Choose the correct word and write its katakana in the blank.

ア) 赤字 イ) 一党独裁 ウ) 関税 エ) 計画経済 オ) 公共事業 カ) 資源 キ) 自治領 ク) 侵略
 ケ) 政党 コ) 賠償金 サ) ファシズム シ) 普通選挙 ス) プロパガンダ セ) 民主主義

確認テスト(2) 5-1.世界恐慌 5-2.ファシズム

どのことばの説明ですか。説明を読んで、正しいことばを答えの欄に書きなさい。

	説明	答え
1	支出が収入より多くて、利益がマイナスになっていること。 Profits are negative because expenses are greater than income. 指经济活动中支出多于收入的差额数字。簿记上登记这种数目时，用红笔书写。——《现代汉语词典》	

確認テスト(3) 5-1.世界恐慌 5-2.ファシズム

	語句	答え: どんな意味か、説明を書きなさい。
1	赤字 deficit 赤字	

確認テスト(1)

解説

- ・日本語初級者向け
- ・説明を読んで該当する語の記号(ア、イ、ウなど)を書く形式。
- ・カタカナは、自分の名前以外読めない、書けないことが多いため、カタカナに触れる機会が少しでも増えるよう、記号は、a,b,c などではなく、カタカナにしました。

確認テスト(2)

- ・日本語中級者向け
- ・説明を読んで、該当する重要語句を書く形式。

確認テスト(3)

- ・日本語上級者向け
- ・重要語句を見て、その説明を書く形式。
- ・生徒の母語で書いてもよい。ただし、教師が内容をチェックする場合は、翻訳ソフトにける必要がある。

「5-1.世界恐慌」「5-2.ファシズム」を学ぶにあたって

1. 世界恐慌を学ぶための前提知識の補充

世界恐慌の学習では、「1929年ニューヨークの株式市場で株価が大暴落した」というところから始まることが多いです。中学校の歴史で世界恐慌を学んでおり、公民の経済的分野で、市場メカニズム、株式会社のしくみ、景気の循環を学んでいることが前提になっています。

しかし、生徒の出身国の経済体制や学習カリキュラムは異なり、経済の勉強をしたことがない生徒も多いのが現状です。高校で歴史総合より先に公共を学ぶカリキュラムであれば不要ですが、歴史総合が先になっている場合もあります。そうすると、そもそも「株式市場で株価が暴落した」が何を言っているのかわからないことでしょう。中学校公民的分野の補充として、ここでは簡単につけ加えました。ページ数の関係で省きましたが、さらに需要と供給、市場価格についても補充が必要かもしれません。生徒の状況に合わせて補充してください。

さらに、経済の知識だけではなく、第一次世界大戦中から戦後期の、世界の生産と消費の動きの先に世界恐慌があることを理解するために、世界恐慌の単位では、「経済が悪くなった歴史の背景」から始めました。

2. 昭和恐慌について

世界恐慌と並行して、日本の昭和恐慌を詳しく扱っている教科書もあります。しかし、外国につながる生徒は、一般に、日本史についての学習経験がなく、知識が乏しいです。そこで、ワークシートでは、「第一次世界大戦時に戦場にならなかった日本は、アメリカと同じような経済的動きがあった」という流れだけにとどめました。その代わり、「資料を読み取ろう」では、データの読み取りの材料に日本を取り上げて確認できるようにしました。

3. ファシズムの扱い

ファシズム、全体主義、独裁体制についての学びは、生徒の出身国が多様であることから、注意深くなる必要がある単元です。生徒の誰かの出身国を取り上げて批判するようなことがないようにしたいものです。生徒たちは、たまたまその国に生まれ育っただけなのですから、個人に国を背負わせないように。

「資料を読み取ろう」では、ナチスドイツの時代について、自分が当時の社会にいたらどう考えただろう、という視点で考察する活動を取り上げました。国民主権の普通選挙の体制がありながら、国民の経済的不安・不満の中で、プロパガンダが意識しないうちに浸透し、国全体の方向まで決めていってしまった、というプロセスを意識できたらと考えました。

同様の主旨で、ワークシートよりもう少し考える時間をとるために、私は「茶色の朝（フランク・パブロフ作）」という反ファシズムの寓話を読んで、課題に答える宿題を冬休みに出しました。作者が著作権を放棄したので、ネット上で全文が読めます。日本語

で読むのは困難かもしれませんが、いろいろな言語で探すことができます。ただし、中国語は香港で出版されたが絶版、ネット上にはありません。タイ語も見つけられませんでした。そういう生徒は、英語版からグーグルレンズなどのカメラ入力機械翻訳で読むことができます。「やさしい日本語リライト版」も作成しました。

歴史総合は知識を伝えるのも、授業時間に活発に話し合うのも、日本語では困難なので、自分の言語でしっかり「考える機会」をつくるために、有効な取り組みでした。

4. パレスチナ問題についての補充ワークシート

パレスチナ問題は、教科書によっていくつかの単元で登場します。第一次世界大戦中のイギリスの「三枚舌外交」、戦後の「第三世界」の単元、冷戦下の地域紛争の中で中東戦争を扱うなど。

しかし、「現在」も歴史の一時点であることを考えれば、教科書でパレスチナが出てくるまで待っていることができない場合もあります。世界情勢の動きに合わせて、適切な時期に授業に挟み込めるように、古代から現代までひとまとめにした「パレスチナ問題」を補助ワークシートとして作成しました。

今まで私は、ナチスのユダヤ人迫害を取り上げるタイミングで、「ユダヤ人でどういう人?」「なぜドイツにいた?」「なぜ迫害されたの?」という問題意識をきっかけにこの補助ワークシートでパレスチナ問題を扱ってきました。しかし、2023 年 10 月に、イスラエルとパレスチナのガザ地区を実効支配するハマスとの間で戦闘が起きたので、現実の問題の背景を知るために、そのタイミングで扱いました。

